MODEL　3574

ディジタル低抵抗計

取扱説明書

鶴賀電機株式会社

H15.4.17
I-01162

１．はじめに

この取扱説明書は、本製品をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取り計らいください。本製品を正しくお使いいただくために、以下の注意事項をお守りください。また、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

> **⚠ 注　　意**
>
> ●故障、誤動作、寿命低下の原因になりますので、次のような場所では使用しないでください。
> 　雨、水滴、日光が直接当たる場所
> 　高温、多湿やほこり、腐食性ガスの多い場所
> 　外来ノイズ、電波、静電気の発生の多い場所
> ●ケースを開けたり、本体を改造して使用しないでください。

３５７４は、１０ｍΩレンジから１０Ωまでの４レンジの抵抗測定ができるオートレンジのディジタル低抵抗計です。
本器は、４端子法の採用によりリード線抵抗や接触抵抗の影響を受けることなく高精度の測定ができます。８種類の上下限値を記憶可能なディジタルコンパレータ、自動校正機能を標準装備しています。
本器はまた、オプションとしてＧＰ－ＩＢ、プリンタインタフェース、及びＢＣＤデータ出力の各インタフェースを用意しています。
なお、本体ケースカバーを取り外すと、パネルマウント用としても使用することができます。

１．１　ご使用前の準備

１．１．１　点　検

本器がお手元に届きましたら仕様との違いがないか、あるいは輸送上での破損がないか点検してください。
もし破損したり、仕様どおり作動しない場合は、形名・製品番号をお知らせください。

１．１．２　保　管

本器を長時間にわたって保管する場合は、湿度が低く直射日光の当たらない場所に保管してください。

１．２　ご使用前のご確認事項

１．２．１　電　源

電源電圧は、出荷時にＡＣ１００Ｖに設定しており、裏面パネルに銘板で表示しています。そのままご使用の場合は、ＡＣ９０Ｖ～ＡＣ１３２Ｖ以内、電源周波数５０／６０Ｈｚで使用してください。
ＡＣ１８０Ｖ～ＡＣ２６４Ｖでご使用の場合は、ＡＣ９０Ｖ～ＡＣ１３２Ｖの銘板をはがして中の切替スイッチをＡＣ１８０Ｖ～ＡＣ２６４Ｖ側にし、上から付属のＡＣ１８０Ｖ～ＡＣ２６４Ｖ銘板を貼ってください。なお、電源切替スイッチの切り替えはご使用電源電圧を確認してから行ってください。また、電源コードを接続するときは、電源スイッチがＯＦＦになっていることを確認してください。

１．２．２　電源コード

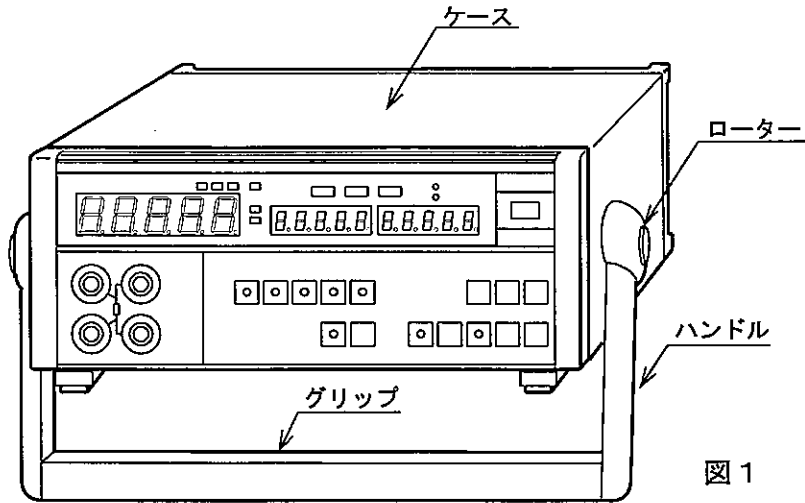
本器に付属している電源コードのプラグはＡＣ１００Ｖ用です。ＡＣ２００Ｖでご使用の場合は、専用のプラグに取り替えてください。
電源コードは本器裏面パネルの電源コネクタに接続してください。電源コードのプラグは３ピンになっており、中央の丸形のピンがアースになっています。
プラグに付属のアダプタを使用してコンセントに接続するときは、アダプタから出ているアース線を必ず外部のアースと接続して大地に接地してください。

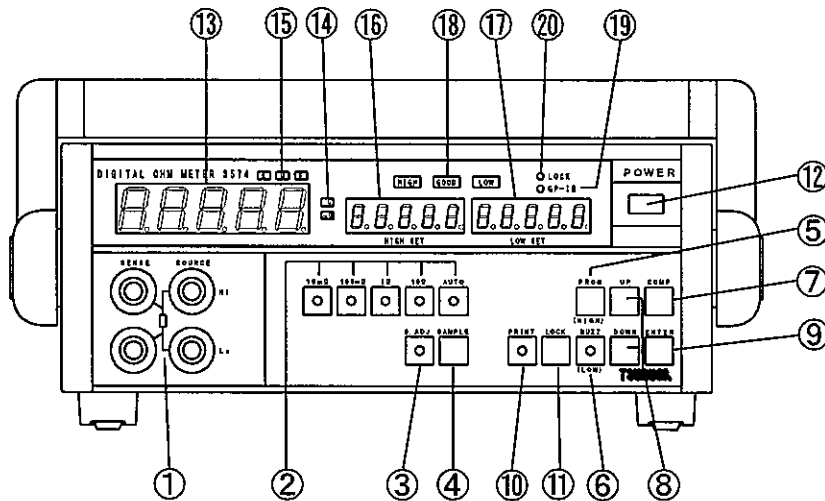
１．２．３　ヒューズの交換

出荷時は０．５Ａの電源ヒューズを挿入しています。
電源電圧をＡＣ１８０～２６４Ｖでご使用の場合は、ヒューズを付属の０．２５Ａと交換してください。電源ヒューズは、裏面パネルのヒューズホルダに収納されています。
ヒューズの交換は、必ず電源コードをコンセントからはずして行ってください。

１．２．４　ハンドルについて

ハンドルを回すには、図１に示すケース両側のロータを同時に押し込みながらハンドルを回してください。また、ハンドルは、３０°毎にロックします。

図１

２．各部の説明

２．１　前面パネルの説明

①測定端子（ＳＥＮＳＥ、ＳＯＵＲＣＥ）
　ＳＥＮＳＥ　Ｈｉ：電圧入力の＋側端子です。
　ＳＥＮＳＥ　Ｌｏ：電圧入力の－側端子です。
　ＳＯＵＲＣＥ Ｈｉ：電流出力の＋側端子です。
　ＳＯＵＲＣＥ Ｌｏ：電流出力の－側端子です。

②測定レンジスイッチ（AUTO、10mΩ、100mΩ、1kΩ、10Ω）
　ＡＵＴＯスイッチ：オートレンジ／マニュアルレンジの選択スイッチです。オートレン選択時に緑色ＬＥＤが点灯します。
　10mΩ、100mΩ、1Ω、10Ωｽｲｯﾁ：抵抗レンジを設定するスイッチです。

③ゼロアジャストスイッチ（０．ＡＤＪ）
　ゼロアジャストのＯＮ／ＯＦＦスイッチで、ゼロアジャスト動作中は緑色ＬＥＤが点灯します。

④サンプリングスイッチ　（ＳＡＭＰＬＥ）
　サンプリング周期を選択するスイッチです。

⑤プログラムスイッチ（ＰＲＯＧ、(HIGH)）
　ＰＲＯＧ(HIGH)：ＣＯＭＰスイッチと、このスイッチでコンパレータの上限値表示を選択します。

⑥ブザースイッチ（ＢＵＺＺ、(LOW)）
　ＢＵＺＺ：ＮＧブザーと、ＧＯＯＤブザーを選択するスイッチで、ブザーＯＮの時に緑色ＬＥＤが点灯します。
　(LOW)　：ＣＯＭＰスイッチと、このスイッチでコンパレータの下限値表示を選択します。

⑦コンパレータメモリスイッチ（ＣＯＭＰ）
　上下限値の設定及びメモリの呼び出しスイッチです。

⑧数値設定スイッチ（ＵＰ、ＤＯＷＮ）
　上限値、下限値及び各機能の数値を設定するスイッチです。ブザーの音量の調整にも使用します。
　ＵＰスイッチ　　：数値が上昇し、押し続けると上昇速度が早くなります。
　ＤＯＷＮスイッチ：数値が下降し、押し続けると下降速度が早くなります。

⑨エンタースイッチ（ＥＮＴＥＲ）
　設定モードの終了スイッチです。

⑩プリントスイッチ（ＰＲＩＮＴ）
　プリンタインタフェース接続時に使用します。

⑪スイッチロック　（ＬＯＣＫ）
　前面パネルのスイッチ操作禁止スイッチです。３秒以上押すと禁止及び解除ができます。
　禁止中はスイッチロック表示⑳が点灯します。

⑫電源スイッチ（ＰＯＷＥＲ）
　スイッチを押し込むと本体電源がＯＮとなります。

⑬表示部
　測定値（抵抗）の表示部です。
　設定モードではコンパレータメモリ番号及びファンクションの表示をします。

⑭単位表示（mΩ、Ω）
　測定している単位を点灯表示し、コンパレータの設定単位を点滅表示します。
　この時、コンパレータの単位が、測定単位と同一の場合には点灯表示となります。

⑮サンプリング周期表示
　サンプリング周期の表示をします。
　Ｓ：サンプリング周期が２．５回／秒のとき点滅します。
　Ｍ：サンプリング周期が１０回／秒のとき点滅します。
　Ｆ：サンプリング周期が２０回／秒のとき点滅します。

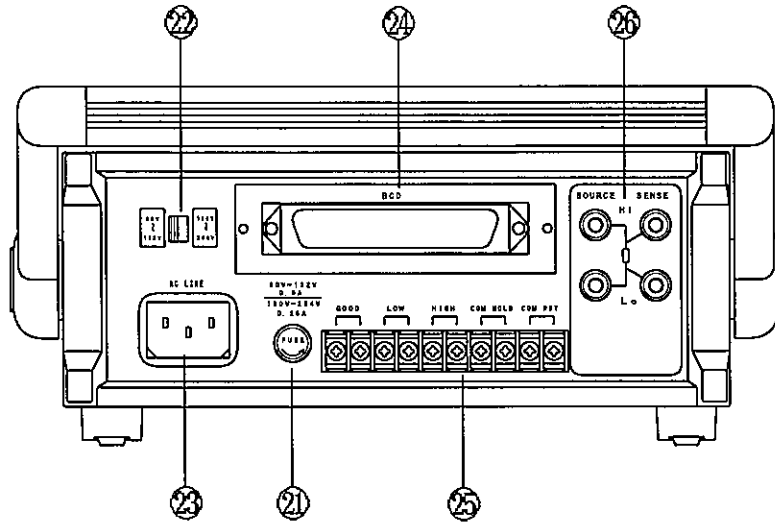
⑯上限値表示
　コンパレータの上限値を表示します。

⑰下限値表示
　コンパレータの下限値を表示します。
　ブザー設定中は設定内容を表示します。

⑱判定結果表示　（ＨＩＧＨ，ＧＯＯＤ，ＬＯＷ）
　ＨＩＧＨ：測定値が上限値以上で赤色ＬＥＤが点灯します。
　ＧＯＯＤ：良判定で緑色ＬＥＤが点灯します。
　ＬＯＷ　：測定値が下限値以下で赤色ＬＥＤが点灯します。

⑲ＧＰ－ＩＢ表示（ＧＰ－ＩＢ）
　ＧＰ－ＩＢリモート状態で緑色ＬＥＤが点灯します。

⑳スイッチロック表示（ＬＯＣＫ）
　スイッチロック状態の時点灯します。

２．２　裏面パネルの説明

㉑ ヒューズホルダ
０．５A（２００V で使用時は０．２５A）のミニヒューズを使用しします。

㉒ 電源電圧切り替えスイッチ
スイッチの切り替えによりAC１００V又はAC２００Vで使用できます。

㉓ 電源コネクタ（AC　LINE）
付属の電源コードをこのコネクタに接続します。

㉔ インタフェースボードの挿入部
オプションのGP－IB、プリンタインタフェース、BCDデータ出力ボードの装着部です。

㉕ 入出力端子台

GOOD　　：表示値が良のとき接点（１a）がONします。
LOW　　：表示値が下限値以下のとき接点（１a）がONします。
HIGH　　：表示値が上限値以上のとき接点（１a）がONします。
COM－HOLD：表示値、測定レンジ、及び判定結果を保持する入力端子です。
COM－RST　：判定結果を復帰する入力端子です。

㉖ 測定端子（SENSE、SOURCE）

SENSE　Hi：前面パネルの測定端子（SENSE　Hi）と共通です。
SENSE　Lo：前面パネルの測定端子（SENSE　Lo）と共通です。
SOURCE　Hi：前面パネルの測定端子（SOURCE　Hi）と共通です。
SOURCE　Lo：前面パネルの測定端子（SOURCE　Lo）と共通です。

３．操作方法

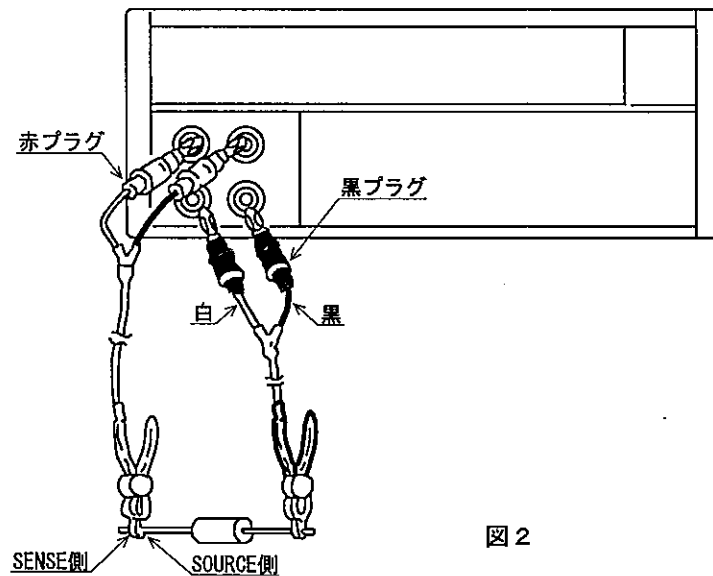
３．１　電　源

本体電源スイッチがＯＦＦになっている事を確認後、電源プラグをコンセントに接続し、電源スイッチをＯＮしてください。
本器は直ちに動作状態になりますが、３０分以上の予熱時間をとってください。
また本器は、パラメータの保持機能を装備していますので、電源をＯＦＦしても下記の各状態を記憶しています。

（１）測定ファンクション及びレンジ
（２）コンパレータの設定値（８種類のコンパレータメモリ値を含む）
（３）スイッチロックの状態
（４）ブザーの状態
（５）ゼロアジャストの状態

３．２　ケルビンクリップの接続

付属のケルビンクリップを、本体前面（又は裏面）の測定端子（ＳＯＵＲＣＥ　Ｈｉ、Ｌｏ、ＳＥＮＳＥ、Ｈｉ、Ｌｏ）に図２に示すように接続して下さい。

図2

３．３　スイッチロック

前面パネルのスイッチにより測定状態が不用意に変更されないように前面スイッチの操作を禁止するスイッチです。
電源スイッチ及びプリントスイッチは除きます。ロック中はＬＯＣＫ表示が点灯します。
ロック中に他のスイッチを操作するときは、スイッチロックを解除してから行って下さい。
①ロックの方法：ＬＯＣＫ表示が消灯中に、ＬＯＣＫスイッチを３秒以上押します。
②ロックの解除：ＬＯＣＫ表示が点灯中に、ＬＯＣＫスイッチを３秒以上押します。

３．４　測定レンジの切替

ＡＵＴＯスイッチで、オートレンジ又はマニュアルレンジを選択します。
オートレンジ選択時はスイッチ中央の緑色ＬＥＤが点灯します。

（１）オートレンジ
- 表示値が１０００００以上で測定レンジが上がり、９００未満でレンジが下がります。
- マニュアルレンジからオートレンジに切り替えた場合、変更直前のレンジからスタートします。

（２）マニュアルレンジ
- ＡＵＴＯスイッチを押してマニュアルレンジに切り替えた場合、測定レンジはオートレンジで選ばれていた測定レンジとなります。
- 測定レンジスイッチで、１０ｍΩ、１００ｍΩ、１Ω、１０Ωの各測定レンジを選択します。
- オートレンジ、マニュアルレンジ及び測定レンジは、ＧＰ－ＩＢ又はＢＣＤデータ出力のインタフェースで外部制御が可能です。

３．５　ゼロアジャスト

抵抗測定での治具などの抵抗分を除去する機能です。
０．ＡＤＪスイッチを押すと、表示値をゼロセット値としてＥＥＰＲＯＭに記憶し、以後は測定値からゼロセット値を差し引いた値を表示します。

表示値 ＝ 測定値 － ゼロセット値

・消灯している０．ＡＤＪスイッチを押すとゼロセット値を記憶し、スイッチ中央のＬＥＤが点灯し動作状態となります。
・点灯している０．ＡＤＪスイッチを押すとスイッチ中央のＬＥＤが消灯し、ゼロアジャストを解除します。
・上位レンジでゼロアジャストした場合、下位レンジでオーバーするときがあります。
・ＧＰ－ＩＢのインタフェースで外部制御が可能です。

３．６　サンプリング周期の選択

本体前面のＳＡＭＰＬＥスイッチを押してサンプリング周期を選択して下さい。
Ｓ→Ｍ→Ｆ→Ｓ・・の順で切り替わります。
Ｓ（ＳＬＯＷ）　　：２．５回／秒
Ｍ（ＭＥＤＩＵＭ）：１０回／秒
Ｆ（ＦＡＳＴ）　　：２０回／秒

３．７　コンパレータ動作

表示値と上下限値とを比較するディジタルコンパレータです。
上限値、下限値１組で８個の設定値を記憶するメモリ（１～８番）付きです。
・メモリはＧＰ－ＩＢ又はＢＣＤデータ出力のインタフェースでも選択できます。
・上下限値の設定、メモリの呼出中はサンプリングを停止し、比較出力はリセット状態となります。

３．７．１　比較条件

表示値≧上限設定値	ＨＩＧＨ　出力
上限設定値＞表示値＞下限設定値	ＧＯＯＤ　出力
表示値≦上限設定値	ＬＯＷ　出力

・コンパレータを５．０００ｍΩと設定した場合、測定レンジが１０ｍΩ～１０Ωレンジで動作します。

３．７．２　比較出力

リレー接点出力：ＨＩＧＨ、ＧＯＯＤ、ＬＯＷ各１ａ接点 ＡＣ２５０Ｖ １Ａ抵抗負荷
表　　　示：ＨＩＧＨ、ＬＯＷ：赤色、ＧＯＯＤ：緑色

３．７．３　設定方法

・ＧＰ－ＩＢでリモート動作中、又はＢＣＤデータ出力のインタフェースで外部制御中は設定できません。

（１）設定範囲

上限値：－９９９９～９９９９

下限値：－９９９９～９９９９

単位及び小数点は別に設定します。

（２）コンパレータメモリの呼び出し

ＣＯＭＰスイッチを押すとコンパレータ設定モードに切り替わり、直前まで比較動作をしていたメモリＮＯ．と上下限値を表示します。

HIGH SET　　LOW SET

続いてＣＯＭＰスイッチを押すと順次メモリＮｏを更新して各メモリの上下限値を表示します。

ＥＮＴＥＲスイッチを押すと、コンパレータ設定モードから測定状態に切り替わりＥＮＴＥＲスイッチＯＮ時のメモリＮＯ．の上下値で比較動作を行います。

（３）上下限値の設定

ＣＯＭＰスイッチを押して必要なコンパレータメモリを呼び出した状態にします。

①（ＨＩＧＨ）スイッチを押すと上限値の設定となり、ＨＩＧＨ　ＳＥＴの表示が点滅します。

②コンパレータレンジを設定します。設定中の単位は単位表示部に点滅表示します。
・測定レンジスイッチで設定することもできます。

③ＵＰスイッチで上限値が上昇、ＤＯＷＮスイッチで下降しますので、必要な値に設定して下さい。ＵＰ又はＤＯＷＮスイッチを押し続けると上昇又は下降速度が早くなります。
ＤＯＷＮスイッチを押し続けて表示を０以下にて－（マイナス）に設定することもできます。

④つぎに（ＬＯＷ）スイッチを押すとＬＯＷ　ＳＥＴの表示が点滅しますので、上限値と同様に下限値を設定して下さい。

⑤ＣＯＭＰスイッチを押すとコンパレータメモリＮＯ．をインクリメントします。

⑥複数のメモリを記憶する場合は、次のメモリＮＯ．に上記と同様に上下限値の設定を行ってください。上下限値を８点まで記憶できます。

（４）コンパレータ設定モードの終了

上下限値の設定が終了したら、ＥＮＴＥＲスイッチを押してください。

各メモリの設定値をＥＥＰＲＯＭに記憶し、測定状態となります。

また、コンパレータはＥＮＴＥＲスイッチＯＮ時に表示しているメモリＮＯ．の上下限値で比較動作を行います。

３．７．４　外部制御（端子台）

（１）ホールド

裏面のＨＯＬＤ端子をＣＯＭ端子に短絡すると、表示値、比較出力及びＢＣＤデータ出力を保持します。ホールド動作時は、前面のＰＲＩＮＴスイッチを除く全てのスイッチの操作ができなくなります。

無電圧接点又はＴＴＬレベル，I_{IL}≦－１ｍＡ

入力レベル：“Ｌ”＝０．８Ｖ以下　“Ｈ”＝３．５～５Ｖ

（２）リセット

裏面のＲＳＴ端子をＣＯＭ端子に短絡すると、比較出力を復帰し比較表示をＯＦＦします。

無電圧接点又はＴＴＬレベル，I_{IL}≦－１ｍＡ

入力レベル：“Ｌ”＝０．８Ｖ以下　“Ｈ”＝３．５～５Ｖ

（３）ワンサンプリングホールド

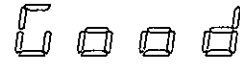
ホールドをＯＮした状態でリセットをＯＮ／ＯＦＦすることによりワンサンプリングホールドができます。ワンサンプリングホールドはマニュアルレンジで行なってください。オートレンジの場合は誤差を生じることがあります。

３．８　ブザー

ブザーの設定は前面パネルのＢＵＺＺスイッチで行います。

・ブザーの設定中はサンプリングを停止し、比較出力はリセット状態となります。

（１）ブザーの設定方法

①ＢＵＺＺスイッチを押すとブザー設定モードに切り替わります。

Good

HIGH SET　　LOW SET

②さらにＢＵＺＺスイッチを押すとＧＯＯＤ→ＮＧ→ＯＦＦ→ＧＯＯＤ・・・の順に切り替わりますので、必要な状態に設定して下さい。

ＧＯＯＤ：コンパレータの比較結果がＧＯＯＤのときブザーが鳴ります。

ＮＧ　　：コンパレータの比較結果がＨＩＧＨ又はＬＯＷのときブザーが鳴ります。

ＯＦＦ　：ブザーをＯＦＦします。

③ブザー音量の調整は、ＵＰスイッチを押すと上昇し、ＤＯＷＮスイッチで下降します。適当な音量に調整して下さい。

（２）ブザー設定モードの終了

ブザーの設定が終了したら、ＥＮＴＥＲスイッチを押してください。

設定内容をＥＥＰＲＯＭに記憶し、測定状態となります。

４．測定方法

４．１　抵抗測定

操作手順

①測定レンジの切り替えを必要に応じて行います。（３．４項参照）

②ゼロアジャストを必要に応じて０．ＡＤＪスイッチで設定します。（３．５項参照）

③ＳＡＭＰＬＥスイッチでサンプリング周期を選択します。（３．６項参照）

④コンパレータを設定します。（３．７．３項参照）

⑤測定を開始します。

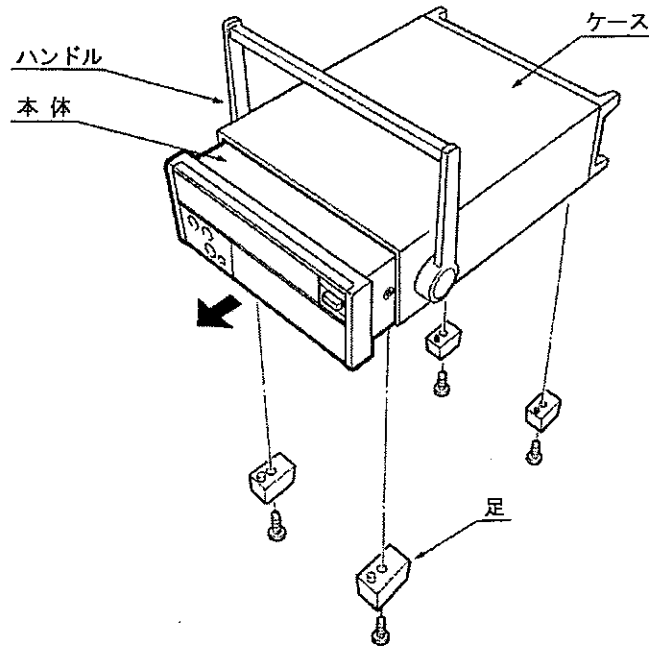
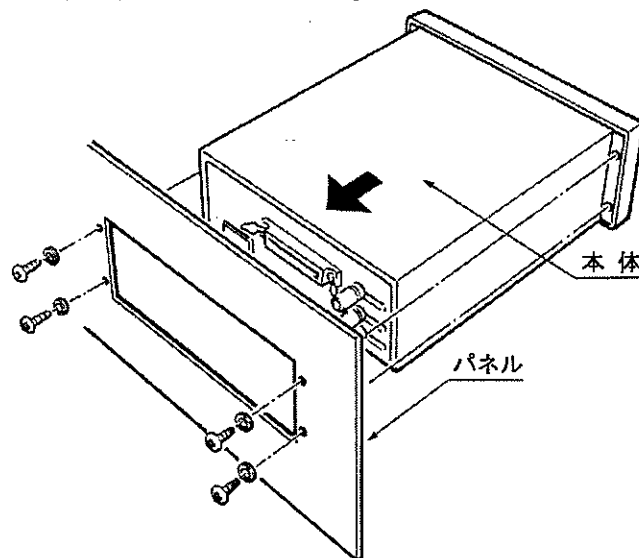
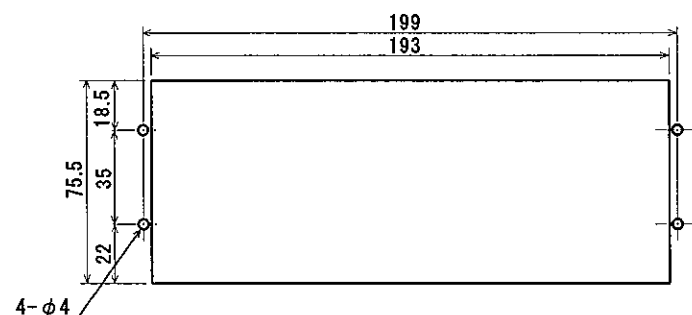
・ＧＰ－ＩＢ又はＢＣＤデータ出力のインタフェースで外部制御が可能です。

5　パネルマウントでの使用

5．1　取付方法

パネルに取り付けて使用する時は、Ｍ３×１０なべねじ、及びばね座金を各４個用意してください。

取り付ける前に次の順序で本器のケースカバーをはずして、本器を引き出します。

（１）ハンドルをケース上側に立てます。
（２）本体底部の足（４箇所）を取り除きます。
（３）本体をケースカバーから引き出します。

本体をパネル前面より挿入して、上記のねじ及びばね座金で４箇所をねじ締めします。
取付場所がせまくてＭ３×１０ねじでは取付が困難な場合は、オプションでパネルマウント用取付ねじ（対辺５．５六角　長さ１５０ｍｍ）を用意していますので、Ｍ３ナット用のボックススパナを用いて取り付けしてください。

5．2　パネルカット寸法

６．校　正

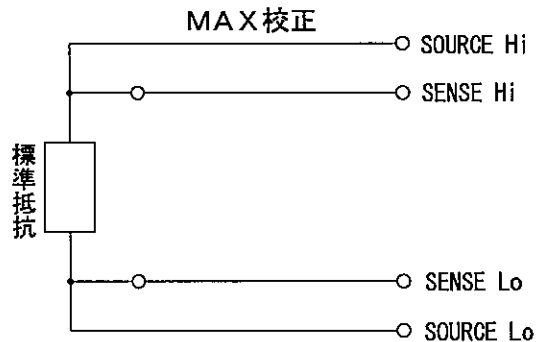
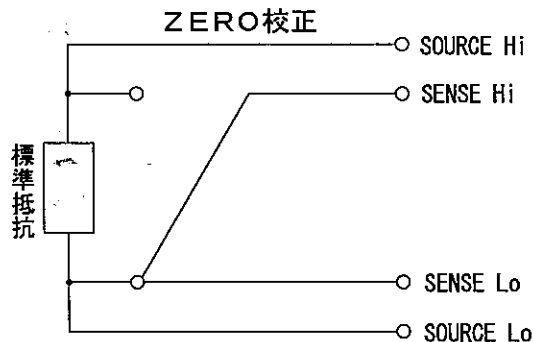
６．１　用意するもの

３５７４を校正する場合、下記の標準抵抗を用意してください。
校正用標準抵抗：１０ｍΩ、１００ｍΩ、１Ω、１０Ω
注）標準抵抗の確度は、３５７４の確度を保証できる精度ものを選定してください。

６．２　校正方法

①電源スイッチをいったんＯＦＦし、１０ｍΩスイッチと１Ωスイッチを同時に押しながら電源スイッチをＯＮすると表示が点滅し、ＨＩＧＨ　ＳＥＴ，ＬＯＷ　ＳＥＴの表示部が消灯して、校正モードに入ります。
②測定レンジスイッチでレンジを選択します。
③標準抵抗を図のようにリード線で接続して下さい。標準抵抗は各レンジに合った抵抗を接続します。（ケルビンクリップは使用しないでください。）
④ＤＯＷＮスイッチを押すとＺＥＲＯが、ＵＰスイッチを押すとＭＡＸが自動校正されますので、各レンジごとに校正して下さい。
⑤各レンジに接続する標準抵抗値と表示値は次のとおりです。

レンジ	標準抵抗値	ＺＥＲＯ表示値	ＭＡＸ表示値
１０ｍΩ	１０ｍΩ	０．０００ｍΩ	１０．０００ｍΩ
１００ｍΩ	１００ｍΩ	０．００　ｍΩ	１００．００ｍΩ
１　Ω	１　Ω	０．０　ｍΩ	１０００．０ｍΩ
１０　Ω	１０　Ω	０．０００　Ω	１０．０００　Ω

⑥校正が終了したら電源をＯＦＦして自動校正機能を解除してください。電源を再投入すると測定状態に戻ります。

７．仕　様

７．１　形　名

３５７４□□　なし　標準（インタフェースなし）
　　　　　　　０１　ＧＰ－ＩＢ付
　　　　　　　０２　プリンタインタフェース付
　　　　　　　０３　ＢＣＤデータ出力付（ＴＴＬレベル）
　　　　　　　０４　ＢＣＤデータ出力付（オープンコレクタ）

７．２　測定範囲・確度

■抵抗測定（ＳＬＯＷサンプリング時）

測定レンジ	10mΩ	100mΩ	1Ω	10Ω
分解能	1μΩ	10μΩ	0.1mΩ	1mΩ
測定電流	DC1A		DC100mA	
測定最大印加電圧	10mV	100mV		1V
確度 ※	±(0.2% of rdg +8digit)		±(0.1% of rdg +8digit)	
温度係数	±(0.02% of rdg +0.5digit)/℃			
開放端子電圧	DC5V MAX			

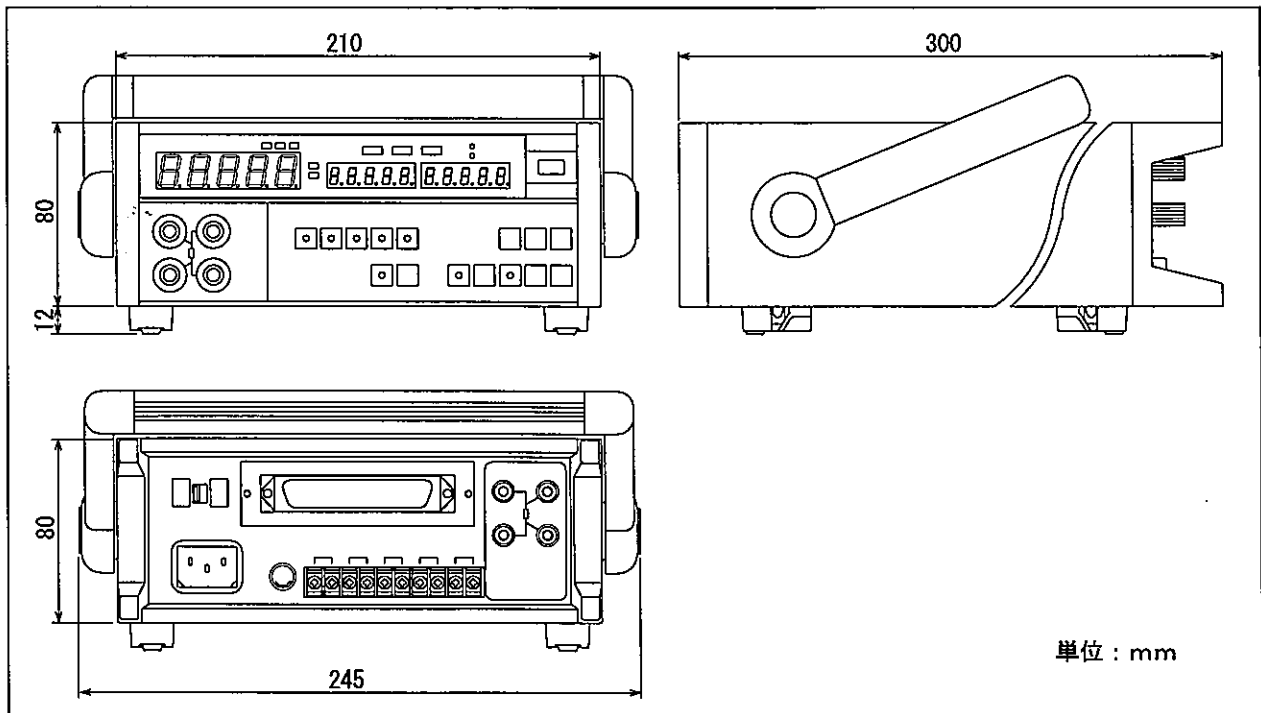
※確度：２３℃±５℃　４５～７５％ＲＨの状態で規定
　　　サンプリング周期がＭＥＤＩＵＭ及びＦＡＳＴの時、ＳＬＯＷの確度に、3digit
　　　を加算

７．３　一般仕様

測　定　方　法：４端子法
最大許容印加電圧：全レンジ　１００Ｖ　ＡＣ／ＤＣ
測定ケーブル抵抗：２Ω以下
表　　　　　示：最大±９９９９　緑色ＬＥＤ（文字高さ１４．２ｍｍ）
　　　　　　　　ゼロサプレス機能付、オートレンジ機能付
オ　ー　バ　表　示：００００にてフラッシング
単　位　表　示：ｍΩ、Ω
サンプリング周期：ＳＬＯＷ　（２．５回／秒）
　　　　　　　　ＭＥＤＩＵＭ（１０回／秒）
　　　　　　　　ＦＡＳＴ　　（２０回／秒）
応　答　時　間：約１５０ｍｓ
　　　　　　　　サンプリング周期ＦＡＳＴで無誘導抵抗測定時
パラメータの保持：ＥＥＰＲＯＭによりファンクション、レンジ、定数等を記憶
　　　　　　　　書換回数　１００，０００回
　　　　　　　　保持期間　１０年
絶　縁　抵　抗：端子一括　／　外箱間　　ＤＣ５００Ｖ　１００ＭΩ以上
耐　　電　　圧：端子一括　／　外箱間　　ＡＣ１５００Ｖ　１分間
　　　　　　　　電　　源　／　外箱間　　ＡＣ１５００Ｖ　１分間
　　　　　　　　測定端子　／　出力端子間　ＡＣ５００Ｖ　　１分間
供　給　電　源：ＡＣ９０～１３２Ｖ又は１８０～２６４Ｖ（５０／６０Ｈｚ）
　　　　　　　　（本体裏面のスイッチの切り替えによりＡＣ１００Ｖ又はＡＣ２００Ｖで
　　　　　　　　使用できます。）
消　費　電　力：ＡＣ１００Ｖ／２００Ｖの時　約７ＶＡ　最大２５ＶＡ
動作周囲温度：０～５０℃
保　存　温　度：－２０～７０℃
重　　　　　量：約３．５Ｋｇ
付　　属　　品：ケルビンクリップ・・・・・・１組
　　　　　　　　２００Ｖ用銘板・・・・・・・１枚
　　　　　　　　電源ヒューズ（200V用 0.25A）１本
　　　　　　　　取扱説明書・・・・・・・・・１部

７．４　初期設定値表（工場出荷時）

測定レンジ	１Ω
コンパレータの動作ＮＯ．	ＮＯ．１
コンパレータ設定値　ＮＯ．１	ＨＩＧＨ：１００．０mΩ　ＬＯＷ：０．０mΩ
コンパレータ設定値　ＮＯ．２	ＨＩＧＨ：　０．０mΩ　ＬＯＷ：０．０mΩ
コンパレータ設定値　ＮＯ．３	ＨＩＧＨ：　０．０mΩ　ＬＯＷ：０．０mΩ
コンパレータ設定値　ＮＯ．４	ＨＩＧＨ：　０．０mΩ　ＬＯＷ：０．０mΩ
コンパレータ設定値　ＮＯ．５	ＨＩＧＨ：　０．０mΩ　ＬＯＷ：０．０mΩ
コンパレータ設定値　ＮＯ．６	ＨＩＧＨ：　０．０mΩ　ＬＯＷ：０．０mΩ
コンパレータ設定値　ＮＯ．７	ＨＩＧＨ：　０．０mΩ　ＬＯＷ：０．０mΩ
コンパレータ設定値　ＮＯ．８	ＨＩＧＨ：　０．０mΩ　ＬＯＷ：０．０mΩ
スイッチロック	ＯＦＦ
ブザー	ＮＧ　　音量ＭＡＸ
ゼロアジャスト	ＯＦＦ

７．５　外形図

７．６　インタフェース（オプション）

ＭＯＤＥＬ３５７４には下記のインタフェースを用意しています。
各インタフェースの取扱については、個別のインタフェース取扱説明書をご参照ください。

（１）ＧＰ－ＩＢインタフェースボード　：５８０５－０１Ｂ
（２）プリンタインタフェースボード　：５８０５－０２Ｂ
（３）ＢＣＤデータ出力ボード（ＴＴＬ）　：５８０５－０３Ｂ
（４）ＢＣＤデータ出力ボード（ｵｰﾌﾟﾝｺﾚｸﾀ）　：５８０５－０４Ｂ